

安心して共に生きる地域づくりをめざして

開成町の計画・第3期障がい福祉計画を策定

問 福祉課 ☎84・0316

平成23年度に障がい者の当事者団体や障害福祉サービス事業者、町教育委員会、開成町社会福祉協議会、県足柄上保健福祉事務所等から選出された委員により構成される「開成町障がい福祉計画等策定委員会」を設置し、「開成町障がい者計画・第3期障がい福祉計画」（平成24～29年度）を策定しました。「障がい者計画は、保健、医療、教育、社会参加、災害時支援など、開成町の障がい者施策の総合的な展開を図るための役割を果たし、「障がい福祉計画」は、障害福祉サービス、相談支援、地域生活支援の提供に関する具体的な内容を定めたもので、この2つの計画を一体的に策定しました。

■計画の策定にあたって

障がい福祉において検討すべき事項は、福祉はもちろんのこと、保健、医療、教育、社会参加、災害時支援など、広範囲にわたります。これはその人にとって今いちばん必要な支援が、一人一人のライフステージや状況によって異なるためです。

この計画では、障がいのある方でもない方も、それぞれの持てる力を発揮し、より良い地域社会づくりに向けて相互に協力することができるよう、

次のような基本理念を掲げ、これを実現するために5つの基本方針を設定しました。そして、その方針に基づき、計画の具体的な取り組み内容や手法等（施策）について定めています。

■基本方針

① 健やかに生活できる環境整備

日々生活の中で少しでも多く快適な時間を過ごせるように、できる限り健康な状態を維持するための支援を行います。

② 安心して生活できる地域づくり

開成町の強みである地域コミュニティを活かして、普段から地域で声掛けや見守りを行い、地域で安心して暮らせる環境を構築します。

③ 円滑な相談対応と質の高い情報提供

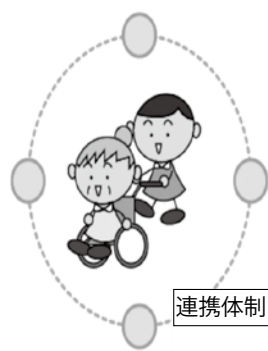
障がいによる不安を抱くことなく生活できるように、幅広い相談に対応できる体制を構築します。



④ ニーズに応じた障害福祉サービスの提供
一人一人異なる障がいの内容やライフステージの変化に伴うニーズへの対応、障がい者が重く在宅介助が困難な場合でもできるだけ自分の家に住み続けるための対応など、障害福祉サービスに関する多様なニーズに応え、適切な支援を行えるようにサービス提供体制を整備します。

⑤ 効果的なサービスを提供する推進体制の構築

策定した計画を効果的に進めるため、定期的に計画の進捗管理を行い、必要に応じて施策の評価や改善をします。また、地域、行政、事業者関係団体、近隣の市町村などの関連機関が互いに連携する体制を構築することで、より質の高い障害福祉サービスを提供します。



消できず、ストレスがたまるなど、心の問題による生きづらさも問題になっています。

開成町の強み

開成町は面積が狭く、平坦で温暖な気候です。自然が豊かであり、交通や流通も比較的良好、自治会や地域のコミュニティ活動が活発に行われている町です。

また、健康に対する意識も高く、多くの方がかかりつけの医療機関をもち、必要に応じて受診行動がとられ、全国的にみても長寿の町です。

この強みを生かして次の2本を基本方針として、さらに健康づくりに取り組んでいきます。

計画の基本方針

- 1・自ら学び、考え、実行する力を育む
- 2・かわり、つながり、支えあう環境づくり

知識とコミュニケーション能力をつけながら自己肯定感を高めて健康づくりに取り組んでいきたいと思います。

■障害福祉サービス提供量の推計

計画の中では、計画期間中の各障害福祉サービスの提供量を推計しています。サービス種類ごとに分けると、

- ・訪問系サービスの充実
- ・居宅介護（ホームヘルプ）や同行支援など
- ・日中活動系サービスの充実
- ・生活介護や自立訓練など
- ・居住系サービスの充実
- ・グループホームやケアホームなど
- ・その他の障害福祉サービス
- ・補装具費の給付や自立支援医療など
- ・相談支援事業や手話通訳者派遣事業など
- ・地域移行の推進
- ・施設入所者の地域生活への移行など

全体的に、「サービス提供事業所数の不足」という課題があり、限られたサービス資源の中で、障がいのある方の支援を行うには、まずは本人やご家族の意向をしつかり把握する相談体制の充実が必要です。計画書は福祉課窓口で閲覧することができます。

計画の体系

健康に関するアンケート調査や医療情報などから、現状と課題をまとめ、食事・運動・休養・歯・たばこ・お酒・感染症・健診など健康に影響を及ぼす7つの要因について乳幼児期から高年期までを5つのライフステージに分けて目標設定し、個人または家庭の中で取り組むことと、それを支援する地域（自治会や団体・学校・医療機関、企業）、町行政が取り組む内容を示しました。

今後の取り組み

今後、地域自治会や各種団体、学校や企業などと、健康情報の交換や連携をとりながら、効果的に食育や、運動教室などを進めていきます。

今年度は運動推進として地域の健康やスポーツリーダー育成のための運動科学講座を計画しています。また、町民の皆さんが、生活の中でできる運動実践のカードを作成し配布します。

詳細は、同時に配付した開成町健康増進計画【概要版】をご覧ください。



健康で充実した生活を送るために 開成町健康増進計画を策定

問 保険健康課 ☎84・0327

健康を取り巻く問題

少子高齢化が急速に進行し、生活様式の変化、社会や生活環境が変化するなか、子どもたちの食習慣の変化、運動不足、ストレスなどを原因とする、がん、心臓病、糖尿病などの生活習慣病が働き盛りの40歳を過ぎたあたりから増加しています。

そして、それらの病気が原因となる、認知症や脳血管疾患などで介護を必要とする人が増えています。

また、人は誰かに認められ、褒められ、感謝されたりする体験をとおして自己を肯定的に受け止め、自分の価値を認識することができるといわれていますが近年、人間関係が希薄になり、人との関係においてプライドが保てない、またこたわりや被害者意識が解